

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

急性期呼吸器疾患患者の心理的障壁に対する作業療法カウンセリングの実践プロセスと臨床的有用性：後方視的ケースシリーズ

1. 研究の対象および研究対象期間

2022 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日に昭和医科大学病院リハビリテーション技術部において急性期リハビリテーションの対象となった呼吸器疾患の患者さん

2. 研究目的・方法

【目的】入院中に強い息苦しさを経験した患者さんは、「動けばまた苦しくなる」という強い不安や恐怖から、動くことを避けてしまい、体の機能が低下してしまうことがあります。本研究では、このような不安・恐怖（呼吸困難関連恐怖）を抱える患者さんに対して、通常の作業療法に「作業療法カウンセリング」を組み合わせた実践の経過と効果を調べることを目的とします。

【方法】作業療法カウンセリングとは、「患者様ご自身の気づきや意欲を引き出し、日常生活への参加を後押しする対話的なアプローチ」です。具体的には、以下の 3 つの段階で実践します。

- ① 気持ちを受け止め、安心して話せる関係をつくる
- ② 患者さんが自分の状況や考えを客観的に見つめられるよう支援する
- ③ 「やってみたいこと・大切にしていること」を目標に、実際の生活活動へと導く

本研究では、過去の診療記録を用いて、介入前後の日常生活動作（ADL）や呼吸困難の程度、心理的な変化を振り返り、その有用性を検討します。なお、本研究に参加されても、今後の診療内容や対応が変わることはありません。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027 年 3 月 31 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療記録より、以下の情報を使用します。

- ・ 基本情報：年齢、性別、疾患名、重症度
- ・ 日常生活動作の評価（機能的自立度評価表など）
- ・ 呼吸困難の評価（修正 Borg scale など）
- ・ 心理的評価（不安・抑うつ・破局的思考・自己効力感の評価）

- ・ 作業療法の記録（患者様の語りおよび行動変容の過程）
- ・ 退院先・転帰に関する情報

なお、収集した情報は個人が特定できないよう符号化した上で使用します。

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。本研究は昭和医科大学病院の単施設で実施します。

6. 研究組織

研究責任者

研究機関名：昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院 リハビリテーション技術部

氏名：久保寺 宏太

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院 リハビリテーション技術部

氏名：久保寺 宏太

住所：〒227-8501 神奈川県横浜市青葉区藤が丘 2-1-1

電話番号：045-974-3636